

2023年度総会第3回役員会 議事録

日時 2023年6月10日(土) 14:00~17:00

場所 アイビーホール(青学会館) グリーンエリアC室

出席者 亀村・紺野・渡辺(直)・大溝・小島・大滝・渡辺(哲)・伊藤・山崎

欠席者 河合

【報告事項】

1. 5月20日(土)実施 古美術を語ろう会「関東大震災から100年~初夏の「隅田川震災復興橋」巡り~」の実施報告

報告者 伊藤雅明実行委員

これまで実施した「語ろう会」で最多29名(うち校友3名、現役古美研生7名)もの参加者があり、年齢層も80代から10代までと幅広い年齢層になり世代間の交流も図れ、更には山本亨区長への挨拶と記念撮影会も実施され非常に有意義なものとなった。

2. 校友会ホームページリニューアルに関する件

報告者 広報担当副会長渡辺直子

4月20日19時よりオンライン説明会が実施(この会議への出席は亀村会長)され、リニューアル基本原稿(アイコン・背景写真・概要等)を5月15日に投稿した。これは、6月24日より公開予定。また、今後適宜コンテンツの作成を行なっていく予定である。

3. 同窓祭講演会(古美研創立55周年記念)「仏像のなかみ~修復の過程 みて.きいて.ふれて~」の実施準備について

報告者 会長亀村通

- 4月27日講師芝崎慶太氏との事前打ち合わせを、総会役員会5名で講師在住の鎌倉を訪問し実施した。
- 「あなたと青山学院」41号掲載のための原稿を5月3日に入稿。41号の発行は7月中の見込み
- アイビーグループ活動支援金(交友会所属の団体が特別に行う記念事業等に対する支援金制度)の支給申請を5月24日に実施。(申請金額275,021円)6月6日審査会を経て6月26日に発表予定→*6月12日に申請額のうち20万円支給内定の連絡あり。

4. 校友会、同窓祭実行委員関係先への挨拶

報告者 会長亀村通

今年の同窓祭講演会を円滑に実施するため5月12日に第30回AOYAMA GREEN FESTIVAL実行委員長の中村洋一氏、校友会大学部事務局長の南直子氏、校友センター事務長の長沼真介氏の3名へ、5月16日に校友会副会長の今井祥雅氏への挨拶を実施した。

5. 現役古美研との情報・意見交換会の実施

報告者 会長亀村通

5月12日青学会館「茶珈堂」にて現役会長大内豪大さん、副会長谷田貝昂生さん、会計/総務服部直美さんの3名と総会役員会4名とで面談し、古美研の現状と今後の活動方針などを聞き、此方からは総会の創設から現在までの経緯を話した。その中で、現役古美研生の中から夏合宿の実施を要望する声なども上がりはじめ、コロナ禍にあって活動が停滞していた古美研にも明るい兆しが見えてきているような感

じだ。

齎会としても今回のように「古美術を語ろう会」に現役古美研生を誘うなどして交流を図りながら現役古美研の力になればと思っている。

また、その為にも現在古美研の顧問をしておられる出光教授への挨拶も予定したい。

6. 古美術研究会機関誌「齎58号」の発刊

報告者 会長亀村通

現役古美研の機関誌である「齎58号」が3月31日付で発刊されたと古美研総務の服部さんより連絡があり4月19日にはそのファイルが送られてきた。当会のホームページに前会長の挨拶文と編集後記、それに発表作品のタイトルを掲載した。

7. 会計中間報告

報告者 会計大溝阿佐子

4月1日から5月30日までの収支と残高の報告があった。収入計20,348円、支出計47,452円、現残高1,767,944円。

【協議事項】

1. 同窓祭の準備について

今回の同窓祭は①「古美研創立55周年記念」とし、仏像修復・柴崎慶太師を講師に迎え「仏像のなかみ～修復の過程 みて・きいて・ふれて～」と題した講演会をメインに実施することとする。

②展示物については、「それぞれのいしだたみ（仮）」と題した写真を会員より募集し、写真展（コンテスト、来場者及びHPによる人気投票を実施し、一番人気は校友会ホームページ"トップページ背景写真"に使用。）を実施する。尚、「それぞれの齎」とは、自分がイメージする「齎」であり、それが「真夏の空」であっても、「近所の神社の参道」であってもかまわないものとする。また、募集要項等の詳細については後日とする。古美研部室に保存してある既存の写真や印刷物の展示は別途検討する。

この二つを実施する為、「同窓祭実行委員会」を設置する。

実行委員会は 広報グループ、会場設営グループ、展示グループ、講演会グループ、総会グループ、懇親会グループに分化し、それぞれ3～4名程度の人員で構成し、各グループのリーダーには齎会役員が就くものとする。

会場の確保については、校友会大学本部からの情報では6月9日に同窓祭ホームページが開設され、教室使用申込みが開始されるとのことであるので、これは会長が遅滞なく申し込み、従来から使用している17311教室の確保を目指す。

印刷物（リーフレット、ポスター、お知らせ、当日配布資料等）の作成と手配は実行委員の広報グループにて行う。

講演会告知の方法は事前に近隣の公共施設に配布、当日キャンパス内に告知、ミニコミ誌掲載等を広報グループを中心に検討する。

その他、会場設営、写真の展示、総会準備、懇親会の準備等は実行委員会設置それぞれのグループで詳細を決定する。

実行委員会の第一回目の会合を8月19日に予定し、各役員は実行委員会設置のため実行委員の人選を早急に進める。

2. 次回の古美術を語ろう会について

次回の古美術を語ろうについては渡邊哲夫運営委員から提案があり、「鷗外の坂・漱石の池」と題し、千駄木・本郷界脇を散歩し鷗外が半生を過ごした邸宅「観潮楼」跡に建てられた鷗外記念館や漱石の小

説「三四郎」の主人公とヒロインの出会いの場所である「三四郎池」などを訪ねる案が出され、出席役員全員がこれに賛同した。実施日は12月16日（土）と決定し、実施に向け詳細な行程表は次回役員会まで作成するよう渡邊運営委員に依頼した。

「古美術を語る会」の呼称変更について適切な呼称の案が提示されず、今回は呼称の変更は見送ることとした。

3. 60周年（2025年）記念事業の検討

この件に関しては次回以降の役員会であらためて検討することとする。

4. 会則改定案の件

本会会則第8条（運営）と第9条（会費及び寄付金）につき改定の有無を検討する必要があるのではないかと会長より提案があり、会長副会長三役で検討した経緯等の説明があったが、本日はこの件を討議する時間がなくなったので次回以降の役員会に再度議題とした取り上げることとした。

5. その他

次回の役員会は8月19日（土）とし、同窓祭実行委員会の第一回会議を同時に開催する事とする。

なお、会場及び開始時間については後日連絡する事とする。

以上を持って本日の役員会を散会する。

議事録作成 総務担当副会長 紺野文弘